

平成28年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王北小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語、算数ともに「知識」をみるA問題の方が、「活用」の力をみるB問題よりも正答率が高いです。
- ・国語の平均正答率はA、B問題とも全国よりもやや低いです。その中でA問題では「読むこと」について、B問題では「書くこと」について、全国よりも高い正答率の設問もあり、日頃からの学習の成果が見られます。A問題の「漢字を読む、書く」の問題や「ローマ字を書く」問題で少し正答率が低く、課題が見られます。
- ・算数の平均正答率は、A問題で全国よりもやや低く、B問題で全国とほぼ同程度でした。A問題では、「数と計算」の除法についての理解や「数量関係」の問題の場面の読み取りと立式、図で表した割合を読む問題などに課題が見られます。B問題では、生活の中にある事象などについての問題を、言葉や式で記述する解答に伸びが見られます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・良い傾向が認められる項目
「将来の夢や目標をもっている」「家の人と学校での出来事について話をしている」「学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めている」「今住んでいる地域の行事に参加している」などについて全国に比べて高い値を示しています。
- ・課題となる項目
「テレビゲームなどを一日にする時間」が1～2、2～3、3～4時間のいずれも全国平均よりも高い値でした。「家の手伝いをしている」「新聞を読んでいる」「家で宿題をしている」などについて全国に比べて低い値を示しています。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・児童の基礎的、基本的な学力の定着を図るために、TT（チームティーチング）の有効活用をしたり、必要に応じて支援体制を組んだりしてきめ細かな指導に取り組みます。
- ・各教科における言語活動の充実を意識した授業作りに取り組み、子どもたちの思考力、判断力、表現力を育てます。（校内研究と合わせて言語環境の整備にも取り組みます。）
- ・学習規律を確立させ、子ども達が学習に集中できる授業作りに取り組みます。
- ・「朝の10分間おはようタイム」などを活用し、漢字練習や計算練習等を継続的に繰り返し指導します。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・「家庭学習の手引き」を活用して、子ども達が、進んで学ぶ習慣が確立できるように声をかけてください。
- ・学校・学年・学級日より・ホームページ等をご覧になって、学校の出来事や勉強したことなどについて親子で会話したり、一緒に過ごしたりする時間をとってあげてください。
- ・就寝時刻、起床時刻、食事の時刻などの生活リズムを整え、ゲームやテレビ・スマホなどを使う時間のルールを親子で話し合っって決めて守らせてください。
- ・図書日よりなどを参考にして親子でいろいろな本を読んだり、お子さんの音読を聞いたりして、本の内容や感想を話し合い、読書を通して心の栄養を付けられるように励ましてあげてください。